

# 市民の声

## ～行方市によせる想い～

### 行方市誕生について



栗原 厚  
(行方市検木)

昨年9月に行方市が誕生して早7カ月が経ちましたが、正直実感がありません。玉造町だった頃は、老人の福祉や子どもの教育などに力を注いで

いただき、とても助かりました。これから少子化・高齢化問題と何かと問題があると思いますが、市民をいじめるような政治ではなく、市民のためになる政治をしていただきたいと願います。また、これから行方市を誇りに思えるような市に発展していくよう、代表の方々には尽力していただきたいと思っています。また、市になったからといって、住民の声が届きにくくなることのない

ように、今まで同様身近に感じられるような行政を望みます。国でも消費税が15%に上がると言われています。そうなるからこの家の家が圧迫され、ますます生活が苦しくなってきました。ですから、代表の方々には、いろいろと問題があり大変でしょうが、市民のことを第一に考えていただき住み良い市になるよう努力していただきたいと思っています。

### 私の理想の行方市



渋谷 真衣子  
(行方市小高)

去年の9月に、新しく行方市が生まれました。他の町だった小学校と同じ市になり、友だちが増えたみたいでうれしかったです。

私は、行方市が大好きです。それは、自然が豊かでおいしい野菜がたくさんできる所だからです。私は、市になっても、この自然がこわれないようにと願っています。農薬などをなるべく使わないよう工夫して、みんなが安心して食べられる野菜のお店やレストランができればいいなと思います。そしていつまでも地球にやさしい市になつて

ほしいです。また、子どもから大人まで楽しめるお店は、ぜひ残してほしいと思います。だがし屋さんやすぐ近所のお店というのは、買う人と売る人が顔見知りで、とても安心できるからです。これからも、行方市はみんなが住みやすく、人にやさしく、ほっとできる楽しい市になつてほしいと思います。

### 行方市に期待すること



宮内 勝也  
(行方市小幡)

国の政策による平成の大合併と言われている市町村合併が、全国各地で行われている中、昨年9月に行方市が誕生して、半

年が経ちました。年度途中での3町合併ということで、それぞれの政策をしていた3町の合併で今まで受けていた行政サービスが受けられなくなったり、役場職員の大異動により、支庁舎に顔見知りの職員も少なくなり不自由な思いをしている方も少なくないと思います。そういう合併のリスクを一日も早く無

くして頂きたいと思っています。そうした中、3月には市執行部及び議会の方々の慎重なる審議の結果、行方市としての初めての予算案が可決されたと思います。予算案の詳しい内容はよく解りませんが、一日も早く、合併した3町の垣根を掃うよう、議会の方々には努力をして頂きたいと思っています。

### 編集後記

満開の桜もいつの間にか葉桜となり、早いもので行方市が誕生してから8カ月となります。

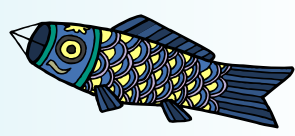
行方市議会では、平成18年第1回定例会が3月8日から20日まで13日間開催され、全議案が原案どおり可決されました。

また、4月6日は小学校、7日は中学校、10日は幼稚園の入学・入園式に出席しました。各学校とも新入生が少なく、本当に寂しい思いがしました。

国としても大きな問題となっている少子化の問題ですが、国・県・市が一丸となつて解決していかなければならない問題だと思っています。

また、行方市の基幹産業は、農業です。これも、農家・行政・農協が一体となり農業振興を考えていかなければならないと思います。

我が街を思う「市民の声」を行政にかしなが、議会としても、合併し、市になつて良かったと言われるような土台づくりを一步一步進めていきたいと思



〔平塚〕

### 広報委員会

- 委員長 寺内 泰俊
- 副委員長 松兼 幸蔵
- 委員 平塚 文雄
- 根崎 勇三
- 吉藤 惠一
- 小林 久
- 塚本 泰雄
- 宮内 正
- 庄司 茂美